



平成26年10月22日

各 位

上場会社名 株式会社 日本M&Aセンター
 代表者 代表取締役社長 三宅 卓
 (コード番号 2127)
 問合せ先責任者 専務取締役管理本部長 檜木 孝磨
 (TEL 03-5220-5454)

業績予想の(上方)修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成26年4月30日に公表いたしました平成27年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,666	2,300	2,300	1,445	36.14
今回修正予想(B)	5,500	2,880	2,900	1,800	45.01
増減額(B-A)	834	580	600	355	
増減率(%)	17.9	25.2	26.1	24.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	4,152	2,081	2,085	1,228	30.73

修正の理由

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)の経営成績は、上記のとおり、同累計期間における過去最高益となる見込みとなりました。

当第2四半期連結累計期間の案件成約数は150件(譲渡・譲受は別カウント)となりました。前年同累計期間の案件成約数は101件であり、対前年比+48.5%と大幅に増加し、第2四半期累計期間として過去最多を更新いたしました。

1947年から49年生まれの団塊の世代の経営者の方々は2014年には65歳から67歳となります。中堅中小企業の経営者の方々にとって数年前までは「将来いつかは対処しなければならない課題」であった後継者問題が、経営者の方々の高齢化とともに機が熟し「決断を迫られている喫緊の課題」に変化しています。

また、少子高齢化や人口減という短期的には動かし難い社会背景から、限りある国内マーケットの中での勝ち残りや先行き不安を解消するために様々な業界で再編の動きが加速しています。

これら2つの大きな潮流が重なり合い、中堅中小企業の旺盛なM&A需要に結びついているものと当社グループでは分析しています。

加えて、案件受託状況も終始好調を維持しており、豊富な受託残を擁しての半期折り返しとなりました。

なお、平成27年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成26年4月30日に公表いたしました予想値に変更はありません。今後の動向に応じて業績予想に変更が生じた場合は速やかに開示いたします。

(注1)上記予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しておりますので、実際の決算数値とは異なる可能性があることにご留意ください。

(注2)平成26年4月1日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益は平成26年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

以 上